

3月2日 計事の如き及び吉時へ二〇才の会社の急  
事へ對しては既に会社は手を出し撤去し更に鉄工  
所へ鉄工組合の幹部として今よりかく復活せし  
あたるゝ事の起居の事を内れ 鉄工組合を中人と  
して幹部へたゞか如きはひいて我との組合先達も  
指さざる挑戦なりと憤慨し且つ又其勤務を乞う  
女とも外見上には多數あるがゆゑに實際は  
極めて少密して勤むこれに甘らずり子能はず  
と二十才解雇者一百二枚名鑑、鑑同印更本  
部へたゞ十二時より此後の会社へ對する実行  
方略を協議し又会社へ就けり連留者幹工  
大會を開き幹部が開く又此の後三四回と解

虎十代より後裔の如古寺某に手協議したる。何れ  
大号数あるより經る年廻り散解したる  
斯く二十才半時一年五ヶ月總同監本部へ生息  
十四名前半より物議の結果、鉄工組合へは事と變  
便し解決したる事部の問題である。甚く支那  
の問題にして西女共の如きし最難度の取扱應じ  
て解法を以て白田土井孝五郎の実行生息  
は速新会社を訪問大机工事長官也一剖  
工事長書口傍説を大井伊太、山の三名に面会し  
たゞし西女共を得た二十三年半前十時再会す  
て手を給ひ野川二十三年半前十時前記五点は  
今紀の前記三名を訪問、因縁を回収致